

胃がん検診の結果が「要精密検査」の場合は、必ず精密検査を受けましょう！

がんは、日本人の死因第1位で、年間37万人以上のかたが亡くなられています。その中でも、胃がんは大腸がんに次いでかかる人が2番目に多いがんです。

胃がん検診（長崎市のがん検診で皆さんが受けた検査）

胃がんの発生には、日ごろの食生活（塩分の過剰摂取、野菜や果物不足など）が影響します。また、ヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）に感染していた場合、胃がんの大きなリスク要因となり除菌治療をお勧めしています。



＜胃内視鏡検査 または 胃部X線検査＞

要精密検査

（内視鏡、CT、MRIなど）

※精密検査は、**保険診療**となります。

※内視鏡検査とは？

内視鏡（極小カメラ）を口（または鼻）から入れ、食道・胃・十二指腸の状態を直接観察します。疑わしい病変がある場合は、組織の一部を採取して病理検査を行うこともあります。

＜検査に関して、よくある質問への回答＞

- ・事前に検査の予約が必要で、前日の夜から飲食や喫煙の制限があります。
- ・検査は5～15分程度ですが、鎮静剤を使用する場合は、検査前後の処置に時間を要します。
- ・検査費用は、保険適用で5,000円～10,000円程度。

※腹部CT検査とは？

体の周囲を360度回転しながらX線を照射して、断面画像を撮影します。検査費用は、保険適用で5,000円～10,000円程度。



※MRI検査とは？

磁気を利用して、体の断面像を縦・横・斜めなどに撮影します。骨の影響を受けません。検査費用は、保険適用で5,000円～7,000円程度。

☆がんに関する統計データ☆（全国がん登録罹患数・率報告2020より）

がん部位別死亡数と罹患患者数

死亡数(2019年)	男女計	罹患数(2018年)
肺がん	1位	大腸がん
大腸がん	2位	胃がん
胃がん	3位	肺がん
すい臓がん	4位	乳がん
肝臓がん	5位	前立腺がん

- ・がん検診は、『不要不急の外出』ではありません。
- ・早期の胃がんでは、自覚症状がほとんどありません。
- ・胃の痛み・不快感、食欲不振、吐き気、胸やけなど気になる症状があれば病院受診を！



大切な命を守るために、忙しさを理由にせず、必ず精密検査を受けましょう。

(R3.11月作成 長崎市健康づくり課)